

## 平成20年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	四日市市楠防災会館
所在地	四日市市楠町南五味塚292番地1
指定管理者	名称 楠町商工会 代表者 小方修一 住所 四日市市楠町南五味塚60番地
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。 その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次葉の通り、具体的な業務の履行状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。
担当部課(問合せ先)	楠総合支所振興課 TEL : 059-398-3111 E-mail : kusu-shinko@city.yokkaichi.mie.jp

### ■ モニタリングの総合コメント

楠防災会館は、市民の地域社会づくりを推進するとともに、災害時の避難施設として利用することを目的として設置されています。この目的を踏まえて管理運営を行ってはいませんが、利用者数、利用率ともに平成19年度とほぼ同じ水準の実績であったことから、今後どのように利用者を増やすかが課題です。計画書に基づき施設の維持管理は適切に行っていることから総合的に判断して適正であると判断します。

業務内容については、条例・規則を遵守し、募集要項、仕様書等に定める業務を適正に実施しています。

自主事業については、施設の設置目的を認識し、継続的に行われており、利用者からも好評を得ました。

経費については、全体では当初の計画より維持管理経費が超過する結果となりました。今後は、施設の利用率アップと民間のノウハウをフルに活かした経費の削減により、より充実した事業運営を期待します。

### ■ 今後の業務改善に向けた考え方

当施設の目的である市民の地域社会づくり推進とともに災害時の避難施設として、誰にも開かれた安心して利用できる施設管理が望まれます。

事業面では、利用率の伸び悩みから増加に導くための利用者の誘導が必要であり、今後の検討課題です。また、自主事業である防災事業を中心とした地域交流事業についても利用者数が増加することが望まれます。施設管理面では、施設の老朽化に伴い利用者には不快感を与えない行き届いたサービスに心がけることで利用率の向上に努めつつ、必要に応じて設備等の修繕についても協議します。

## 基本的な考え方（施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）

### 合目的性・公平性・効果性

市民の文化活動、交流活動等地域社会づくりの推進と災害時の避難施設として利用することを目的とした施設であり、施設の目的に沿った実施方針に基づいて適切に管理運営が行われていました。

施設運営や利用者への対応については、アンケートでも満足と示されているように、市民が公平・平等に利用できるよう規定に基づいて運用していました。

施設の効用については、平成19年度水準をほぼ維持する程度に止まり、利用者を増やすための事業の推進が必要です。

管理経費については、管理コストが当初計画を上回り、結果的に収支はマイナスとなりました。今後は、利用率及び利用料収入をあげるためにPR方法等を検討する努力が必要です。

## 業務内容

### 機能性・独創性（事業への具体的な取り組み方）

地域住民の社会づくりや施設の大きな役割である防災意識の向上のため、事業計画に則って事業運営に関する業務や自主事業を適切に実施していました。

今後も地域防災の拠点としての役割を十分に果たしていくための事業を継続的に実施していくことが必要です。

### 責任性・実行性（施設の運営体制や組織）

運営状況については、職員の勤務体制や開館時間を遵守し適切に運営していました。  
施設の維持管理についても毎月、事業報告書にて提出され問題なく実施していました。

### 明瞭性・規律性（適正な事務や経理）

貸館料金や付属設備利用料等の収入や、施設の管理費等の支出について適正に処理し、領収書や経理関係調書も整理されていました。

施設の保守点検等に関する報告書類も整理されていました。

### 安全性（安全管理、緊急時等の対応）

緊急時の対応における意識は高く、火災等の訓練については消防計画どおり年2回実施していました。

防火対象物点検の免除が認められるなど適正な施設管理に実績を残しました。

個人情報保護については制定した規程に基づいて犯罪防止・秘密保持に努めています。

また、定期的に研修を行うなど積極的に職員のレベルアップを図っています。

### 社会性（環境等への配慮）

不要個所の照明の消灯や清掃時の節水等の省力化、障害者利用についての対応、廃棄物の分別化について、それぞれ創意工夫をして実施していました。

## 事業収支

### 経済性

事業収支について、収入については利用者数の増加低迷により、平成19年度水準に止まりました。一方で、支出においては管理経費の影響が大きく、結果赤字となりました。今後は利用料金をいかに増やすかが課題です。

## 団体の経営状態

### 経営の健全性

指定管理者から提出された財務状況について決算書を分析した結果、継続性には問題ないと判断しました。

# 施設概要調書

## 1. 施設の概要

平成20年度

施設名	四日市市楠防災会館		所管課：振興課
所在地	四日市市楠町南五味塚292番地1		設置年月：昭和62年3月
設置目的	市民の地域社会づくりを推進するとともに、災害時の避難施設として利用するため		
設置の根拠 (法令、条例等)	四日市市楠防災会館条例		
施設の概要	設備の概要	敷地面積 (㎡)	820.00 (消防車庫用地として)
		延床面積 (㎡)	303.14 (消防車庫を除く)
		鉄筋コンクリート造 3階建 2階 ホール、他 3階 和室、他  ※1階部分は消防車庫(217.90 ㎡)	
	事業概要	市民向け会館施設の一般利用 災害時に避難所として使用	

## 2. 運営状況

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
開館日数	359日	359日	0日
開館時間	8:30~21:00	8:30~21:00	計画通り

## 3. 利用実績

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比	
延利用者数	2階ホール	—	3,234人	—
	3階和室	—	777人	—
	合計	H19実績4,310人以上	4,011人	△229人
稼働率	平均	H19実績13.0% (280コマ/2160コマ) 以上	13.3% (286コマ/2,154コマ)	0.3%
	平日	—	13.9% (202コマ/1,458コマ)	—
	土日祝	—	12.1% (84コマ/696コマ)	—

## 4. 事業収支

(単位:円)

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
利用料金収入	300,000	243,980	△ 56,020
指定管理料	38,000	38,000	0
その他収入	0	69	69
収入計	338,000	282,049	△ 55,951
人件費	40,000	36,000	△ 4,000
管理費	288,000	439,288	151,288
消耗品費	10,000	5,000	△ 5,000
燃料費	0	0	0
印刷製本費	0	0	0
光熱水費	90,000	239,089	149,089
修繕料	10,000	0	△ 10,000
通信運搬費	30,000	38,033	8,033
広告料	0	0	0
手数料	0	0	0
保険料	148,000	157,166	9,166
委託料			
賃借料	0	0	0
その他	0	0	0
事業費(ソフト事業等)	10,000	58,633	48,633
一般管理費	0	0	0
支出計	338,000	533,921	195,921
収支	0	△ 251,872	△ 251,872

## 平成20年 楠防災会館施設 運営状況 チェックシート

### 1. 運営企画

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
開館日数	359日	359日	計画通り	開館数及び事業について、当初計画通り行われた。	適
開館時間	8:30~21:00	8:30~21:00	計画通り		
事業開催	1事業開催	1事業開催	計画通り		

### 2. 利用実績

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
延べ利用者数	貸利用者数 H19実績 4,310人以上	4,011人	△299人	実施計画には及ばないものの概ね目標は達成できたと判断する。	適
事業参加者実績	防災講習会	7月 30人	—	当初計画どおり実施された。参加者数については目標設定はないものの、平成19年度との比較では若干の増加に止まった。	
稼働率	貸館)ホール	H19実績以上 237コマ/1,080コマ (21.9%)	228コマ/1,077コマ (21.2%)	△0.7%	
	貸館)和室	H19実績以上 43コマ/1,080コマ (4.0%)	58コマ/1,077コマ (5.4%)	1.4%	
	合計	H19実績以上 280コマ/2,160コマ (13.0%)	286コマ/2,154コマ (13.3%)	0.3%	

### 3. 事業収支

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
利用料金収入	貸館)室利用 貸館)設備利用	221,380 22,600	△56,020	利用料金収入については、平成19年度の実績を踏まえた実施計画であり、若干目標に到達できなかったものの、概ね誤差の範囲に止まることができた。指定管理料については、実施計画どおり執行された。	適
指定管理料	38,000	38,000	0		
その他収入	0	69	69		
収入計	338,000	282,049	△55,951	[勤務体制：正職4人、臨時2人]  支出については、実施計画より光熱水費が増加する結果となったが、管理運営上の必要経費を考えると適正な執行であると判断され、支出計は平成19年度の水準を保つことができた。 また、人件費は楠福祉会館との一体管理により支出を抑える努力が見られた。 なお、損害賠償等の保険料は、実施計画では委託料に含まれていたため、委託料で決算した。	適
人件費	40,000	36,000	△4,000		
管理費	288,000	439,288	151,288		
消耗品費	10,000	5,000	△5,000		
燃料費	0	0	0		
印刷製本費	0	0	0		
光熱水費	90,000	239,089	149,089		
修繕料	10,000	0	△10,000		
通信運搬費	30,000	38,033	8,033		
広告料	0	0	0		
手数料	0	0	0		
保険料	148,000	157,166	9,166		
委託料					
賃借料	0	0	0		
その他	0	0	0		
事業費(ソフト事業等)	10,000	58,633	48,633		
一般管理費	0	0	0		
支出計	338,000	533,921	195,921		
収支	0	△251,872	△251,872		

#### 総合コメント

運営上は、当初計画に基づき実施された。また、施設の管理面についても適正であった。しかし、事業収支については、光熱水費にも見られるように収支のバランスを欠く結果となった。結果的にマイナス収支となったことについては、応募時の指定管理者の指定管理料の積算に誤差があったものと判断する。  
 なお、経理関係調書や領収証等の証拠書類については、適正に整理・保管されていた。

平成20年度 楠防災会館施設 運営状況 チェックシート①-2

項目		事業分析	適否判断
利用実績		<p>公の施設として、また緊急時の指定避難所としての施設の目的を認識し、自主事業として防災意識の高揚を図るため「防災講演会」を実施し、施設の意義を地域の住民や利用者に広く広報していることは大きな意義がある。</p> <p>利用者数の推移が停滞している理由は、楠福祉会館あるいは楠避難会館との競合が関係していると思われるが、稼働率の向上が困難な中、各々の施設の特徴を理解し利用者に周知することで振り分けを行うなど、結果、稼働率が向上していることから指定管理者のPRが少しずつではあるが、浸透してきていると判断できる。</p>	適
事業 収支	収入	<p>利用料金は、事業計画と収入実績との間に若干の差異が生じているが、平成20年度の実績（243,980円）は、平成19年度の実績（257,860円）とほぼ同額であり、指定管理者の努力が伺える。</p>	適
	支出	<p>平成20年度の支出総額（533,921円）は、平成19年度（523,262円）と比較しても大きな隔たりはなく、施設管理上必要な管理経費が執行されていると判断できる。</p> <p>しかし、実施計画と支出実績において、光熱水費に大きな乖離が生じたのは、指定管理者指定応募時の委託料の積算が十分ではなかったことが原因であると考えられる。</p> <p>一方で、人件費の抑制に努力するなど指定管理者としての工夫も見られる。</p>	適